「町田市新たな学校づくり推進計画（案）」
「町田市立学校 施設機能別整備方針（案）」
「町田市立学校個別施設計画 学校整備計画編（案）」のポイント

協議事項のポイントその１

「学校に通学して学ぶ意味」を踏まえた新たな学校づくり

「町田市新たな学校づくり推進計画（案）」（以下「推進計画案」）では、学校に通学して学ぶ意味を踏まえて、新たな学校において協働的な学習や学校生活におけるコミュニケーションを促進することができるような学校施設機能を整備する方針※1を定めています。

また、学校教育において育みたい資質・能力について、新たな学校において学校と地域・保護者が協働して育むための拠点として学校内に「コミュニティルーム」を整備する方針※1を定めるとともに、新たな学校の教育目標を話し合う中で学校と地域・保護者の役割を確認するプロセスを方針※2として定めています。

■学校に通学して学ぶ意味とは…

将来の教育活動では、オンライン指導や AI 等を活用して児童・生徒に個別最適化した学習内容を示すソフトウェアの普及によって、「知識の習得」は ICT を活用した教育活動が優位になっていくことが想定されます。

しかし、教育の目的が「人格の完成」であることを考えたときに、教育委員会では、多様な価値観を持つ児童・生徒が学校に通学し、協働的な学習はもとより、学校生活そのものを通じて集団で話し合い、励まし合いながら学ぶ中で、思考力・判断力・表現力や社会性・人間関係を形成する力といった資質・能力を育むことが、学校に通学して学ぶ意味だと考えています。

※1:「町田市立学校 施設機能別整備方針（案）」
※2:推進計画案 第６章「まちだの新たな学校づくり実施方針」

（参考）まちだの新たな学校づくりで学校施設はどう変わる？

推進計画案では、新たな学校づくりを実現するために様々な施設機能を刷新することを整備方針として定めています。その中でも協働的な学習を充実させるうえで重視している「普通教室」と「ラーニングセンター」について、その整備のポイントと整備イメージをご紹介します。

ポイントその１ 協働的な学習を重視した普通教室の機能拡充 ※3～4 ページイラスト参照

①机の配置を自由に変えて協働的な学習をしやすくするために、原則として、小学校ではオープンスペースを整備するものとし、中学校では従来の面積の約 1.2 倍（約 80 ㎡）の面積で整備します。

②普通教室の前面や壁面は、大型提示装置等の ICT を積極的に活用した多様な学習活動と掲示スペースの確保を両立させるためにホワイトボードを整備します。

③机周辺にある荷物を収納して協働的な学習がしやすくするために、拡大した普通教室内に、児童・生徒の学用品を収納できる十分なスペースを確保します。

ポイントその２ ラーニングセンターの整備（図書室の機能拡充） ※5 ページイラスト参照

図書室について、従来の図書の閲覧スペースに加えて、図書や多様なメディアを活用しながら協働的な学習を展開することができる「ラーニングルーム」を備えた「ラーニングセンター」として整備します。

このラーニングセンターは、教育活動の拠点であることを基本としつつ、放課後活動または地域開放等で活用することを想定した位置に配置します。

協議事項のポイントその 2

新たな学校づくりを実現するための通学区域の再編

推進計画案では、市立小・中学校において 2040 年度までに児童・生徒数が約 30%減少する見込みである状況や、学校施設の老朽化が深刻な状況において、市立小・中学校の建て替えを進めながら「学校に通学して学ぶ意味」を踏まえた新たな学校づくりを実現するために、市立小学校を 42 校から 26 校、市立中学校を 20 校から 15 校に学校統廃合を行う目標を掲げました。

具体的には、2040 年度までに実現することを目指す「新たな通学区域」「学校候補地」及び新たな学校施設で教育活動を開始する「新校舎使用開始目標年度」を定めています。

協議事項のポイントその 3

「町田市新たな学校づくり推進計画（案）」

「町田市立学校 施設機能別整備方針（案）」

「町田市立学校個別施設計画 学校整備計画編（案）」の同時策定

推進計画案では、学校統廃合等を契機とした市立小・中学校の建て替え等を一貫した基本理念・基本方針で進めるために「町田市立学校の新たな学校施設機能の基本的な考え方」を定めています。

この基本的な考え方を具体化するために、普通教室や特別教室といった機能別に室数、面積、配置等の新たな学校づくりに求める機能をまとめた「町田市立学校 施設機能別整備方針（案）」（以下「整備方針案」）を同時に策定します。

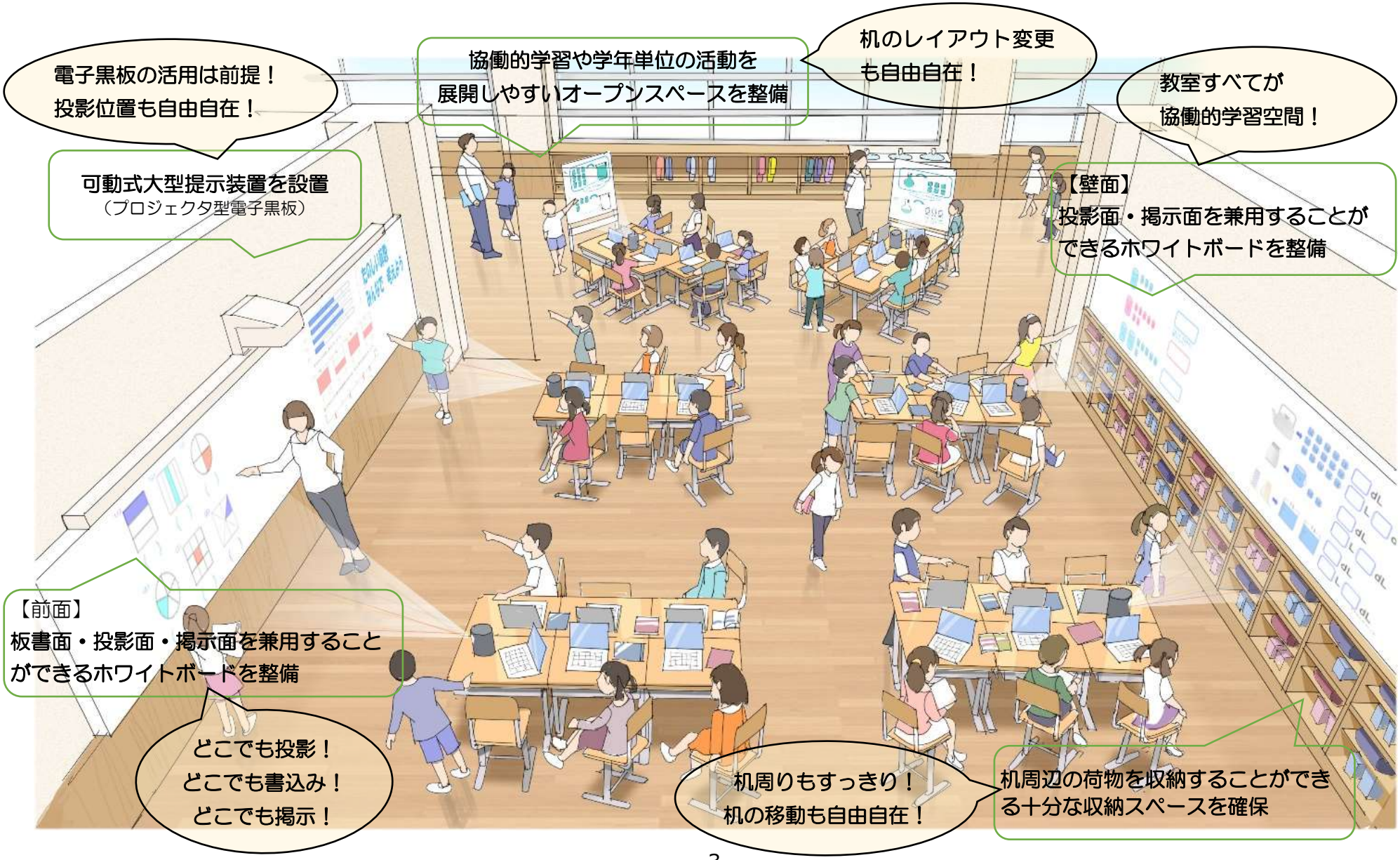
そして、推進計画案及び整備方針案に基づいて、計画的に老朽化対策を進め、新たな学校づくりに求められる機能・性能を確保するための学校の建替えや改修工事の想定時期及び事業費などの内容を定めた「町田市立学校個別施設計画 学校整備計画編（案）」（以下「学校整備計画案」）を同時に策定します。

学校整備計画案の計画期間である 2055 年度までの改修を含めた総事業費は 2,541 億 7 千万円、総改築（建て替え）費は 2,088 億 5 千万円の一大プロジェクトです。

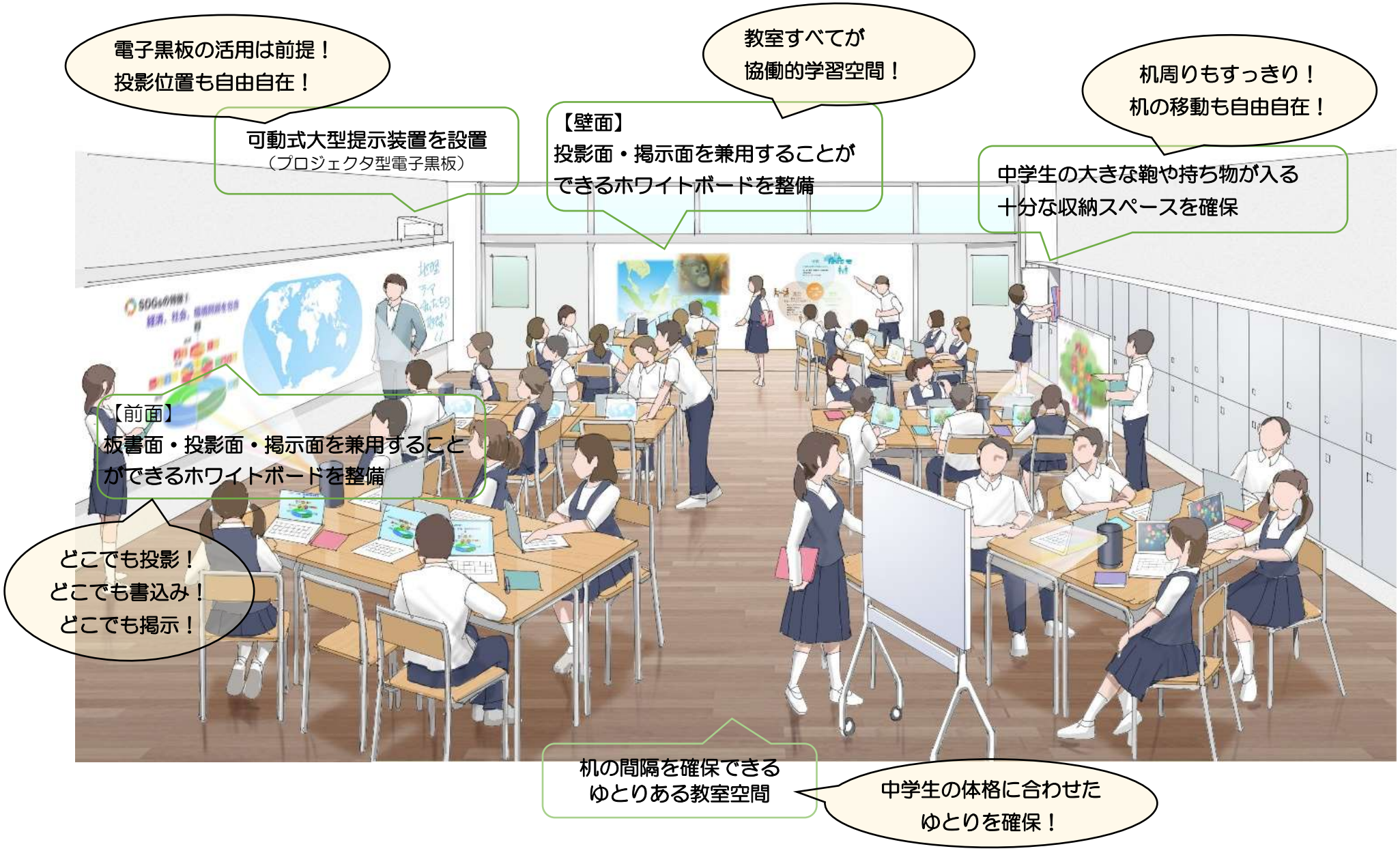
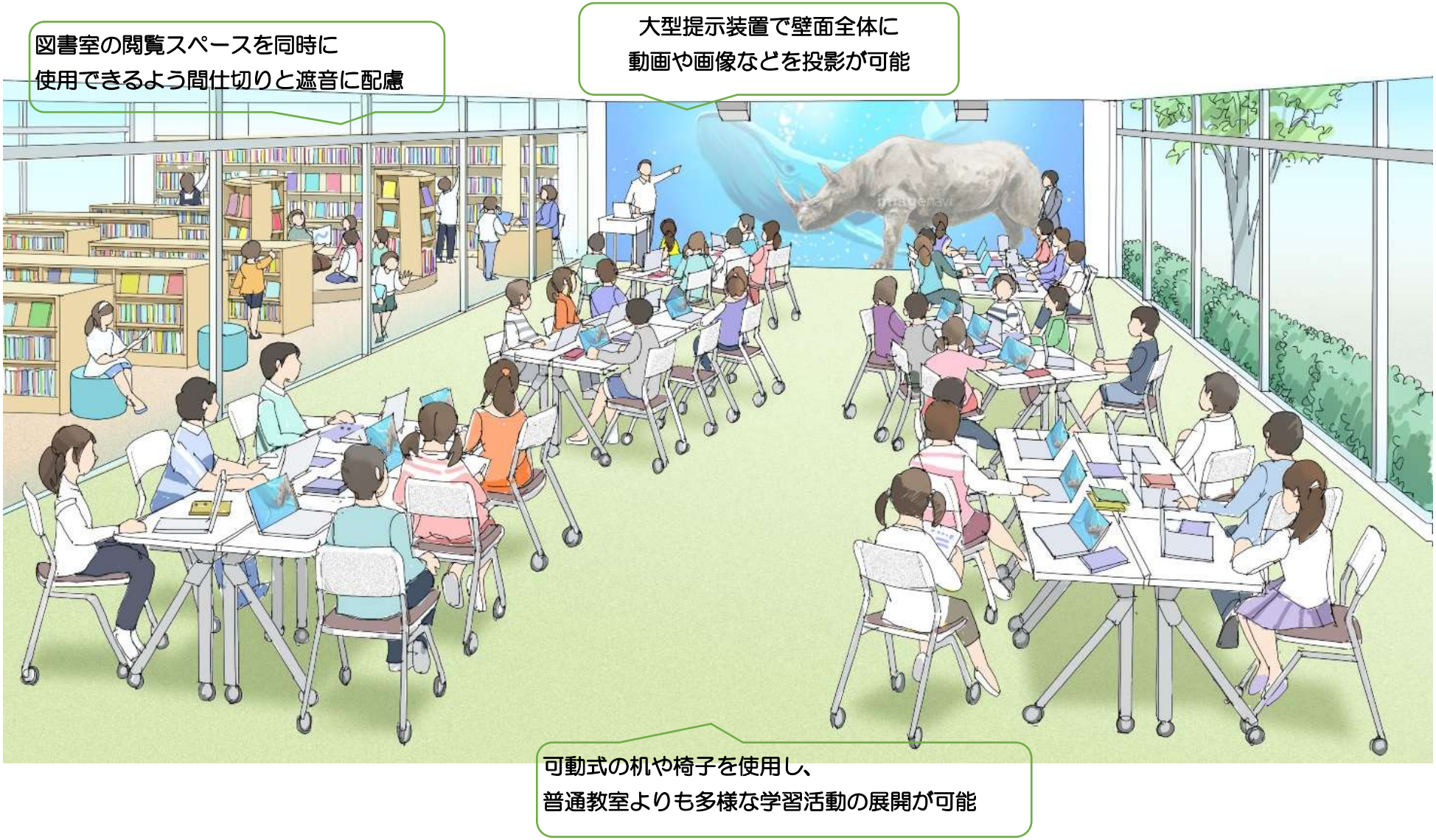
新たな学校づくりの実現に向けて、学校統廃合を含めた通学区域の再編を行う計画（推進計画案）と、新たな学校づくりに求める学校施設機能を具体的に定めた方針（整備方針案）、そして、この 2 つの内容を反映した学校整備計画案を同時に策定するのは全国で初めてになります。

普通教室（小学校）の整備イメージ　普通教室の面積（オープンスペースあり）：64 ㎡→110.5 ㎡（**約 1.7 倍**）

オープンスペースなし：64 ㎡→72 ㎡（**約 1.1 倍**）



普通教室（中学校）の整備イメージ　普通教室の面積：64 ㎡→80 ㎡（**約 1.2 倍**）



ラーニングセンター（ラーニングルーム）の整備イメージ